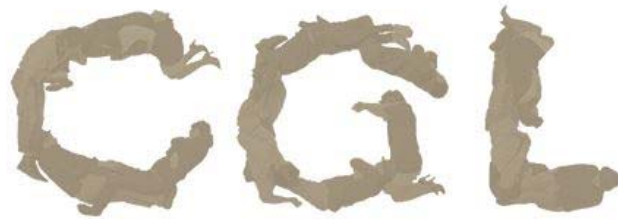


# えきつぷくろいそ Equipe Kuroiso

第3回(パネルディスカッション) 14.09.20(土)  
議事録



CROWD GOVERNMENT LAB.

クラウドガバメントラボ

# 目次と当日のタイムスケジュール

## 【議事録の目次】

1. リバープロジェクトの取り組み紹介
2. 第2回WSのアジェンダ紹介
3. 建設予定施設のイメージ紹介
4. 意見交換

- |        |  |
|--------|--|
| 1. 日時  | 平成26年09月20日(土) 14:00~17:00   |
| 2. 場所  | 黒磯公民館いきいきふれあいセンター  |
| 3. ゲスト | 小林 重敬 (東京都市大学)<br>飯盛 善徳 (慶応義塾大学)<br>今村 まゆみ (街づくりカウンセラー)<br>角野 幸博 (関西大学)<br>小泉 雅生 (首都大学東京大学院) |

# リバースプロジェクトの 取り組み紹介





**個の成長 種の成長**

できることから  
変えよう



個の成長

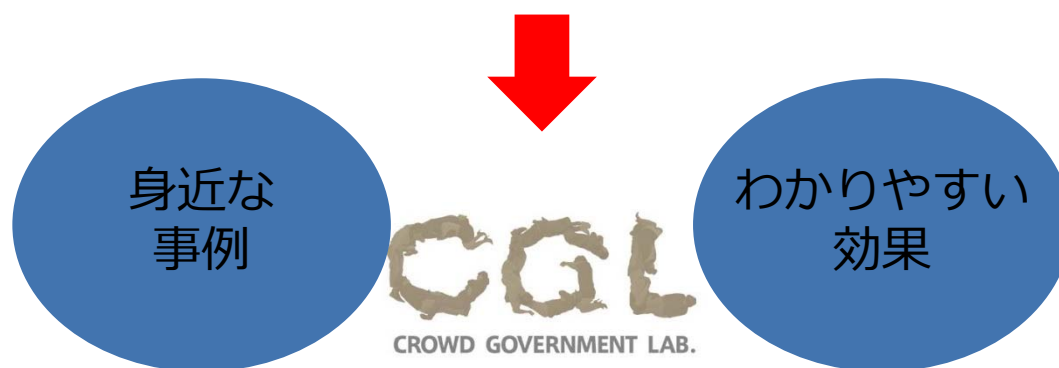
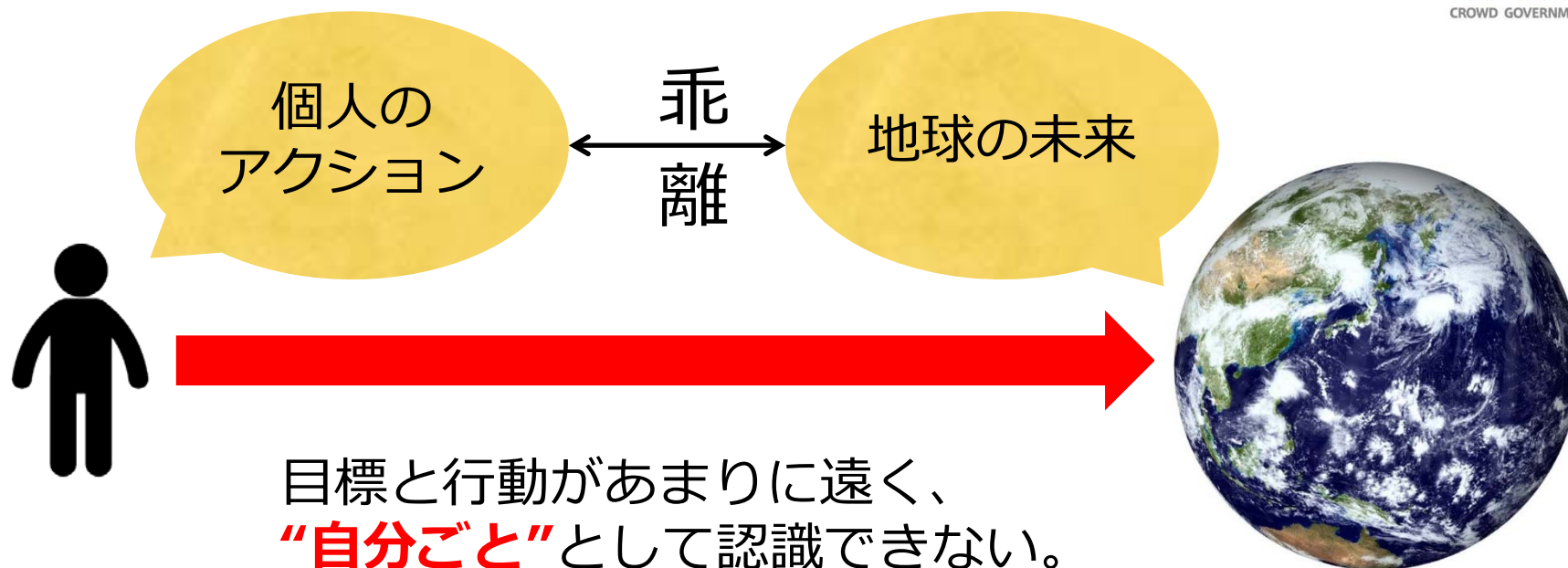
種の成長



個人としての  
気づきと再生



種としての  
人類の変革



人類が地球に生き残るためのアクションをわかりやすく提示。

リバースプロジェクトは、  
2つの切り口で未来を考えます。

消費の選択

衣食住 オーガニック  
フェアトレード  
自然回帰  
エシカル



市民の政治参加



誰かに任せる  
観客型から  
自分たちで決める  
参加型へ。

## 2つの切り口が持つ意味

### 消費の選択

環境負荷  
軽減

フェアな  
商習慣

廃材  
活用

包装・物流  
改善



### 市民の政治参加

社会課題の  
自分事化

未来づくり  
参画

市民の  
合意形成

ビジョンの  
共有

地球の未来につながるもの



## 2つの切り口が持つ意味

### 市民の政治参加



社会課題の  
自分事化

未来づくり  
参画

市民の  
合意形成

ビジョンの  
共有

## 地球の未来につながるもの



市民参加による  
まちづくりを進めるためのアクション

黒磯駅前再開発に「市民の参加」を

マルチ  
テークホルダー  
プロセス

- 事業・職業の多様性
- 参加者の年代の多様性

えきっぷ  
くろいそ

今後の  
まちづくりへの  
反映

オンライン市民投票

情報発信と市民への問いかけ

市民

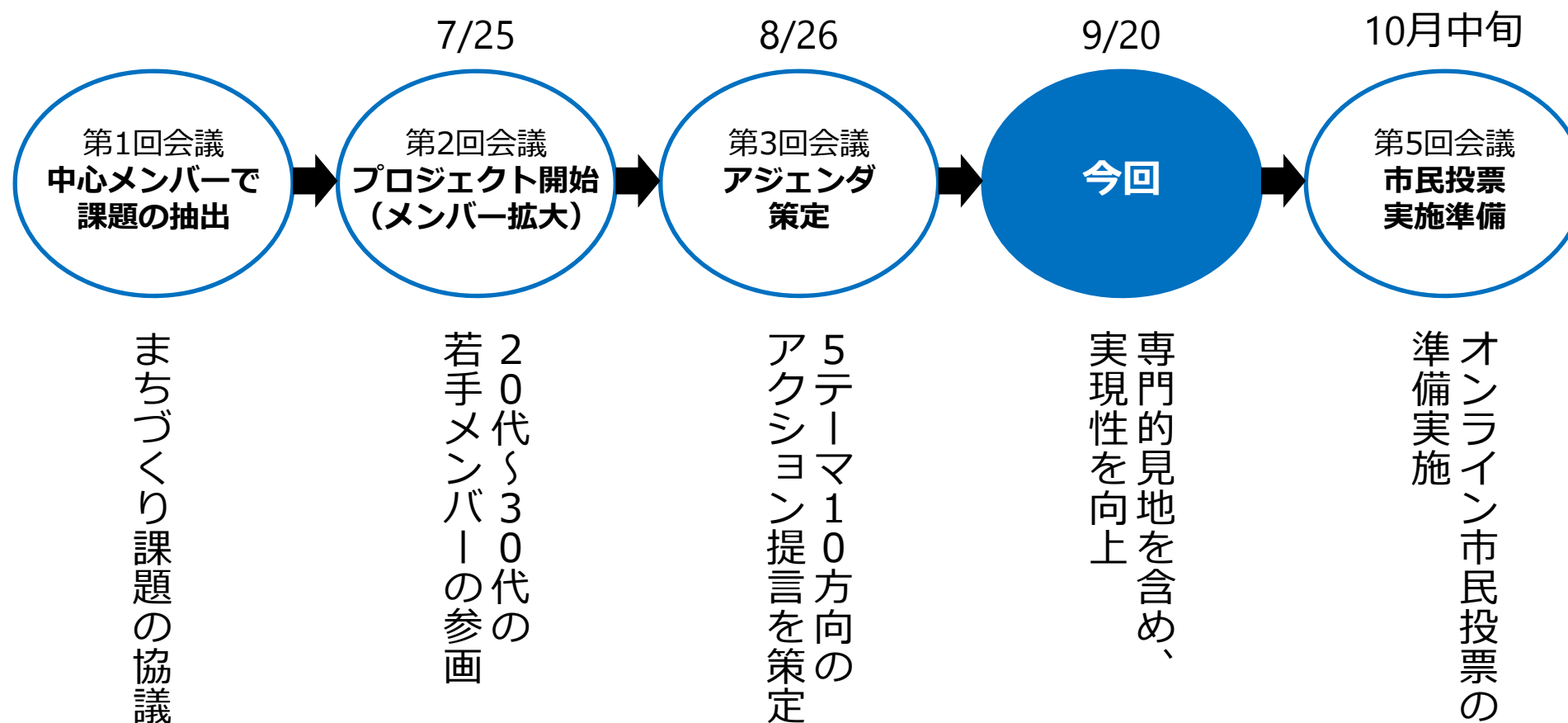
市民

市民

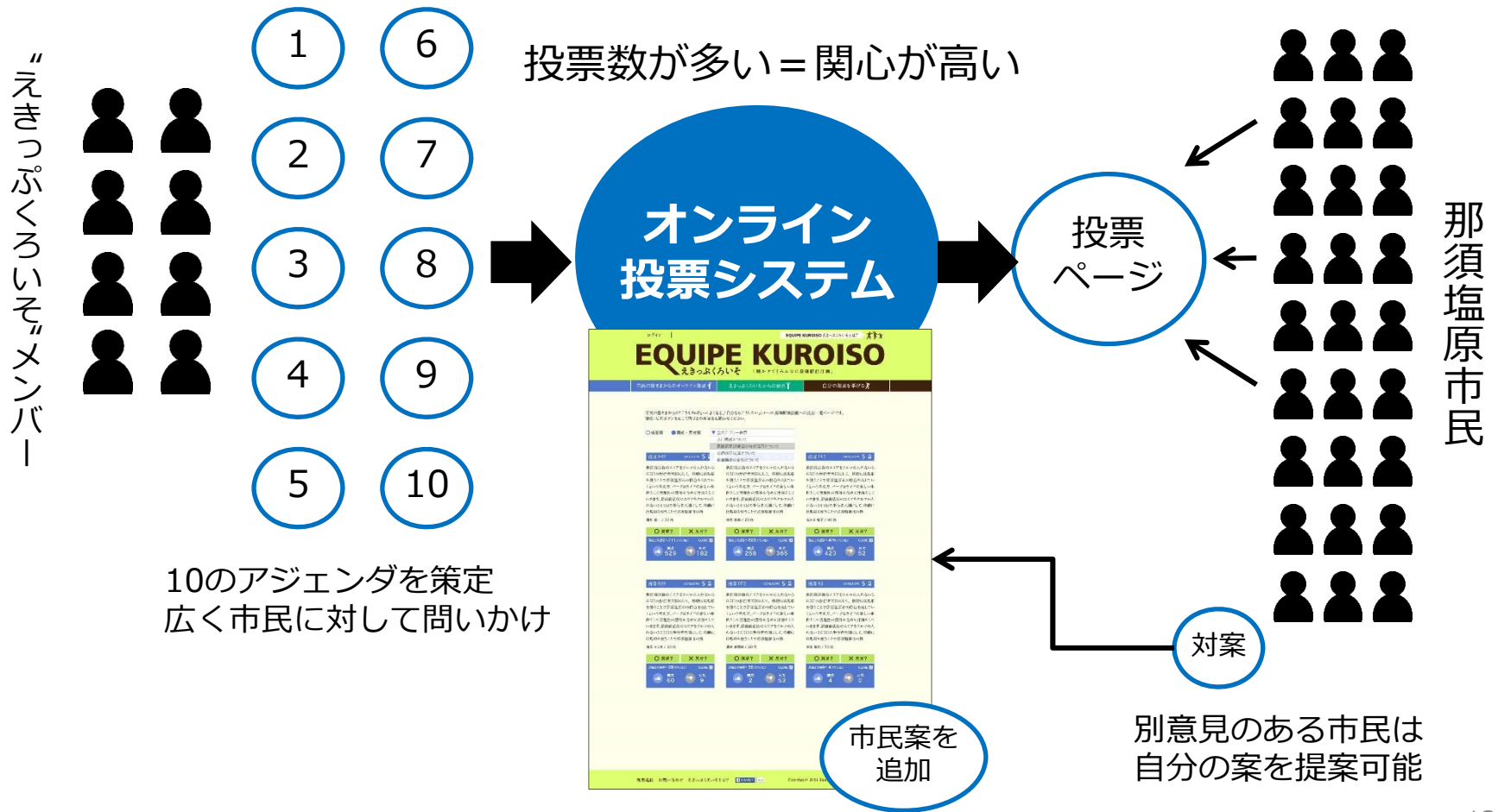
市民

市民

えきっぷくろいそ／プロジェクトの進行



オンライン市民投票の実施



# EQUIPE KUROISO

えきっぷくろいそ 「聞かせて!みんなの黒磯駅前計画」

市民の皆さまからのオンライン提言

えきっぷくろいそからの提言

自分の提言を挙げる

"えきっぷくろいそ"のメンバーから発案された黒磯駅前計画への提言一覧ページです。  
賛成・反対ボタンをおして皆さまの意見をお聞かせください。

○新着順 ●賛成・反対順 ▼全カテゴリー表示



提言 006 CATEGORY \$ 車

駅前からクルマを排除して、馬車で移動するまちづくり。  
やるならいまでしょ班 / No.6

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原... >> 詳細を見る

○ 賛成? X 反対?



提言 003 CATEGORY \$ 車

20歳以下の世代を中心とした観光イベントづくり。  
ラッキー班 / No.3

黒磯小、中、高校の連携で、駅前行われる観光イベントの企画から実施までを彼らに任せます。まちを担う... >> 詳細を見る

○ 賛成? X 反対?



提言 002 CATEGORY \$ 車 人

駅前に子育てを応援する施設をつくる。  
那須塩原最高班 / No.2

出勤前に子供を預け、地域の方々の協力を得ながら育てている施設を検討したいと思います。託児所+シ... >> 詳細を見る

○ 賛成? X 反対?



提言 001 CATEGORY \$ 車

駅前からクルマを排除して、馬車で移動するまちづくり。  
若者男女班 / No.1

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原... >> 詳細を見る

○ 賛成? X 反対?



提言 005 CATEGORY \$ 車

20歳以下の世代を中心とした観光イベントづくり。  
一致団結班 / No.5

黒磯小、中、高校の連携で、駅前行われる観光イベントの企画から実施までを彼らに任せます。まちを担う... >> 詳細を見る

○ 賛成? X 反対?



提言 004 CATEGORY \$ 車 人

駅前に子育てを応援する施設をつくる。  
黒磯ママさん班 / NO.4

出勤前に子供を預け、地域の方々の協力を得ながら育てている施設を検討したいと思います。託児所+シ... >> 詳細を見る

○ 賛成? X 反対?



提言 001 現在この提言へ707 アクション

CATEGORY \$ 産業構造 車 交通利用 有効活用 人口構成

賛成 529 反対 178

## 駅前からクルマを排除して、馬車で移動するまちづくり。

賛成：反対で明確に意思表示  
得票数の多いものが高関心度

ログイン | EQUIPE KUROISO えきっぷくろいそとは?

# EQUIPE KUROISO

えきっぷくろいそ 「聞かせて!みんなの黒磯駅前計画」

市民の皆さまからのオンライン提言 | えきっぷくろいそからの提言 | 自分の提言を挙げる

市民の皆さまからの「こうすればもっとよくなる」「自分ならこうしたい」といった黒磯駅前計画への提言一覧ページです。  
賛成・反対ボタンをおして皆さまの意見をお聞かせください。

新着順  賛成・反対順

▼ 全カテゴリー表示

人口構成について

黒磯駅周辺地区の有効活用について

交通利用状況について

産業構造の変化について

提言 042 CATEGORY \$

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

西川 健一 / 30代

賛成?  反対?

現在の提言へ 711 アクション CLOSE

賛成 529 反対 182

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

神沢 秀典 / 20代

賛成?  反対?

現在の提言へ 623 アクション CLOSE

賛成 258 反対 365

提言 028 CATEGORY \$

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

合田 マリオ / 30代

賛成?  反対?

現在の提言へ 69 アクション CLOSE

賛成 60 反対 9

提言 072 CATEGORY \$

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

黒木 紗理奈 / 20代

賛成?  反対?

現在の提言へ 55 アクション CLOSE

賛成 2 反対 53

提言 028 CATEGORY \$

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

合田 マリオ / 30代

賛成?  反対?

現在の提言へ 69 アクション CLOSE

賛成 60 反対 9

いきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

神楽 智代 / 70代

賛成?  反対?

現在の提言へ 4 アクション CLOSE

賛成 4 反対 0

提言 072 CATEGORY \$

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

黒木 紗理奈 / 20代

賛成?  反対?

現在の提言へ 55 アクション CLOSE

賛成 2 反対 53

提言 83 CATEGORY \$

駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特色を出していくという考え方。パーク&ライドの新しい事例として話題性の獲得を含めて計画をしていきます。駅前商店街のエリアをクルマの入れない365日の歩行者天国にして、移動には馬車を使うことで那須塩原市の特

神楽 智代 / 70代

賛成?  反対?

現在の提言へ 4 アクション CLOSE

賛成 4 反対 0

市民が独自に提言して  
得票数を集めることも可能

## 1. 市民参画によるまちづくりの実現

- 役所が決める、一部の人に関わる、というように、他人ごとになりがちな「まちづくり」を市民協働で実現したい。

## 2. 持続可能なまちづくりの推進

- 市民の意識と、まちづくりの基本プランが連動できる、ハード・ソフト一体型の再開発計画の立案に挑戦したい。

## 3. オンラインシステムの市民自治への活用

- 市民ひとりひとりが声をあげられるしくみをオンラインを主体に開設することで、年代・職業を問わない意見抽出したい。



# 第2回 WS アジェンダの紹介



# ハード 図書館 (4班)

タイトル

多様なニーズに応える図書館  
「学んで」「食べて」「愉しむ」を実現する空間

詳細

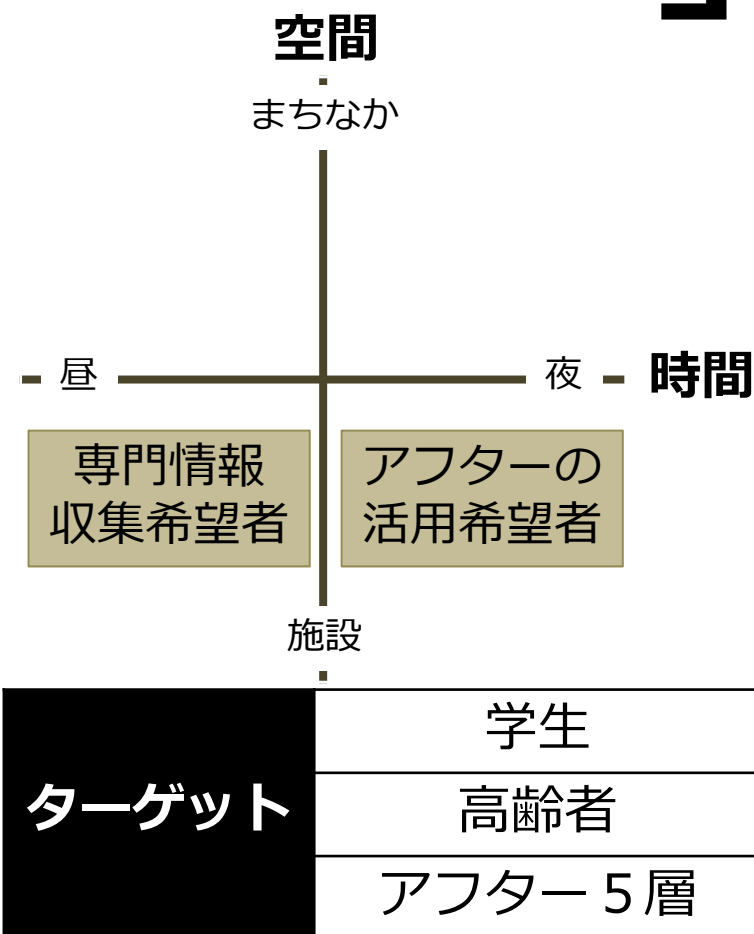
- 05時～22時まで開館し、**朝やアフターの時間**を有効活用
- 託児所**を設け、主に高齢者の方が対応し、**世代間交流の場**としての機能を要する
- 使用用途を高めるため、学術分類だけでなく、**用途別に書籍**进行分类する

現状の課題

- 手軽な学習スペース
- 夜間の学習環境
- 用途別の書籍選定

期待できる効果

- 市民の時間の使い方の幅が広がる
- 世代間交流の促進に繋がる
- 書籍を見つけやすくなる



# ハード 図書館 (7班)

タイトル

誰でも気軽に情報収集発信できるコンビニ的駅チカ図書館

詳細

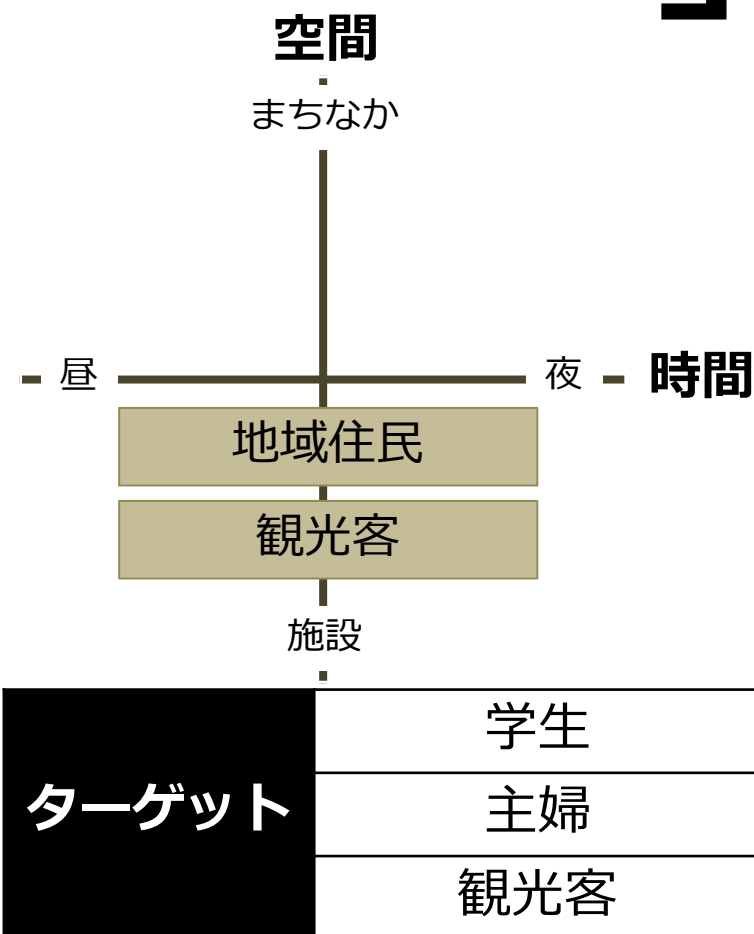
- **24時間営業**とする
- **飲食スペース**や**ソファ**を設置する
- 人生相談など多種多様な悩みを相談できる**カウンセラー**のいる図書館
- 駅チカの利便性を活用し、**観光案内所**を設置する

現状の課題

- 飲食スペースがない
- くつろげない
- 交流環境がない
- 市民中心の環境

期待できる効果

- くつろげる環境で長期滞在が可能
- カウンセラーとの会話で悩みを改善
- 観光客が足を運ぶ



# ハード 交流センター (1班)

タイトル

食を通じた交流

## 詳細

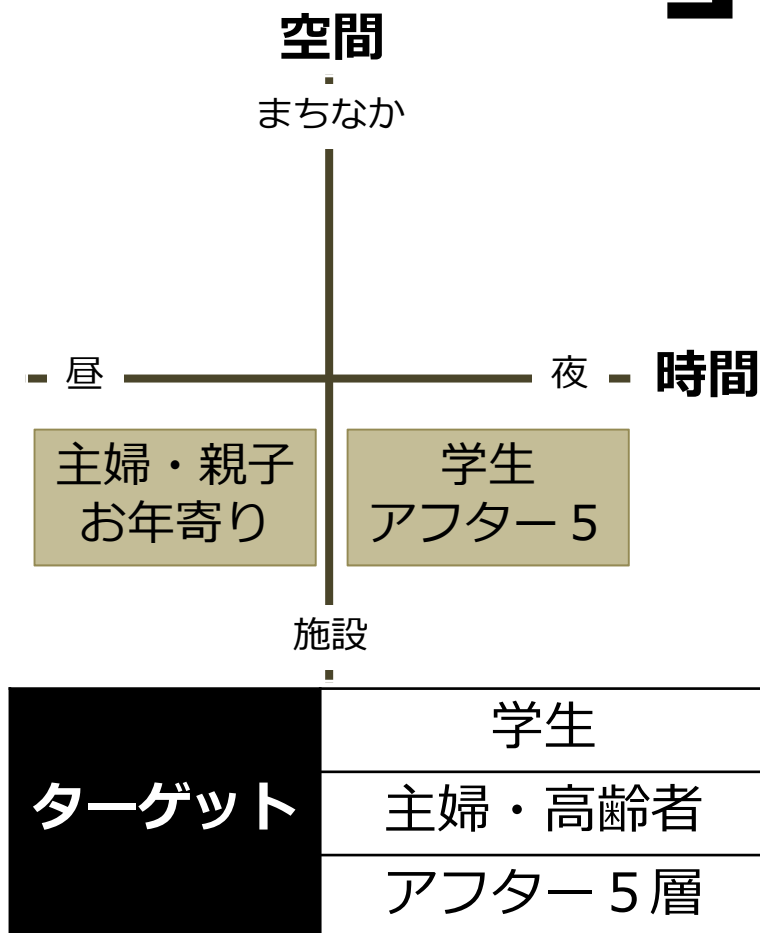
- 交流センター内にオープンキッチン
- 地元の食材を販売
- 料理教室の場
- 学生が地元の食材を利用して料理をつくる
- 講師(地元シェフ)等呼んで食育講座
- 日替わり店長

## 現状の課題

- 交流環境が少ない
- 手軽な出店環境が少ない

## 期待できる効果

- 食を通じた世代間交流の促進
- 日替わり店長制の導入で起業家支援



# ハード 交流センター (2班)

タイトル

多世代が一堂に集まって楽しめる場所

詳細

- 365日稼働
- カルチャー教室やライブハウス
- 子ども達の遊べる場所
- フードコートやマルシェ
- 多用途に使用可能なフリースペース
- まちづくり組織のミーティングスペース
- FM黒磯
- 温泉を利用したリラックススペース

現状の課題

- 趣味の共有を行いにくい
- 子どもにもものづくりを楽しませる環境がない
- 会議スペースが欲しい

期待できる効果

- 趣味を通じた交流が広がる
- 子ども創造力を育てる
- ストレス社会の改善に結びつく

空間

まちなか

昼 時間 夜

マルシェ出店・店舗経営希望者

主婦・親子  
お年寄り

学生  
アフター5

施設

ターゲット

起業家

学生～高齢者

観光客

# ハード 商店街 (6班)

タイトル

自動車に頼らないバランスのとれた  
新しい交通環境の整備

詳細

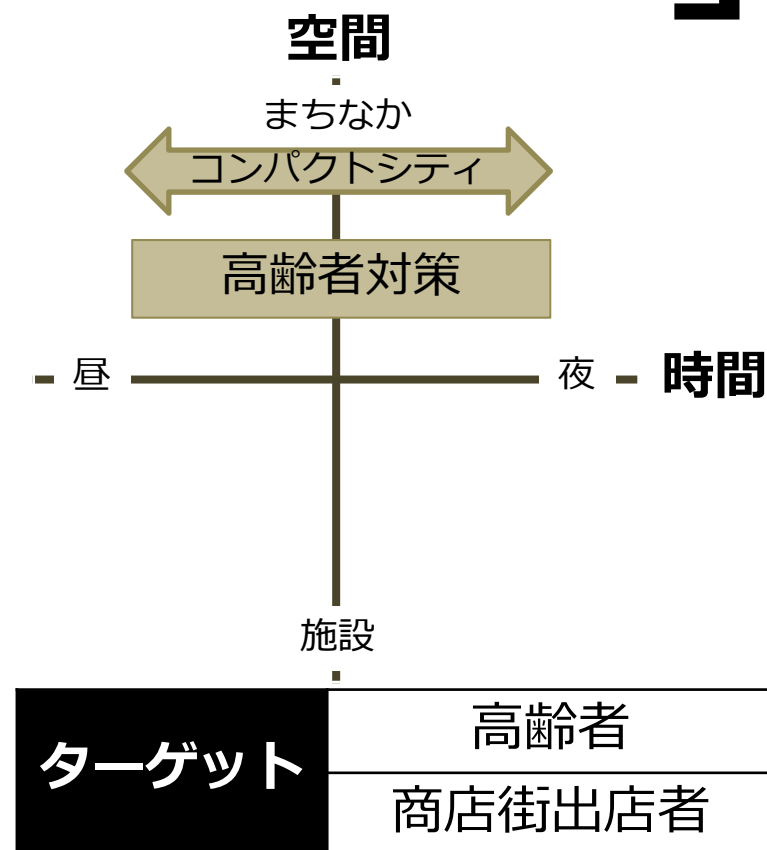
- 高齢者向けに駅前近辺で生活できる環境を整備する
- サイクリングを楽しめる環境づくりや車両進入設定をしてパーク&ライド化
- 景観の維持
- 生活のサポートは近隣で解決
- 情報発信の環境整備

現状の課題

- 高齢化社会
- 人口減少

期待できる効果

- 駅前を中心としたコンパクトシティ化
- 車に頼らない安全な生活
- 商店街に新たな人の流れを構築



# ハード 商店街 (9班)

タイトル

歴史的建造物 魅力再生化について  
～再生を見える化～

詳細

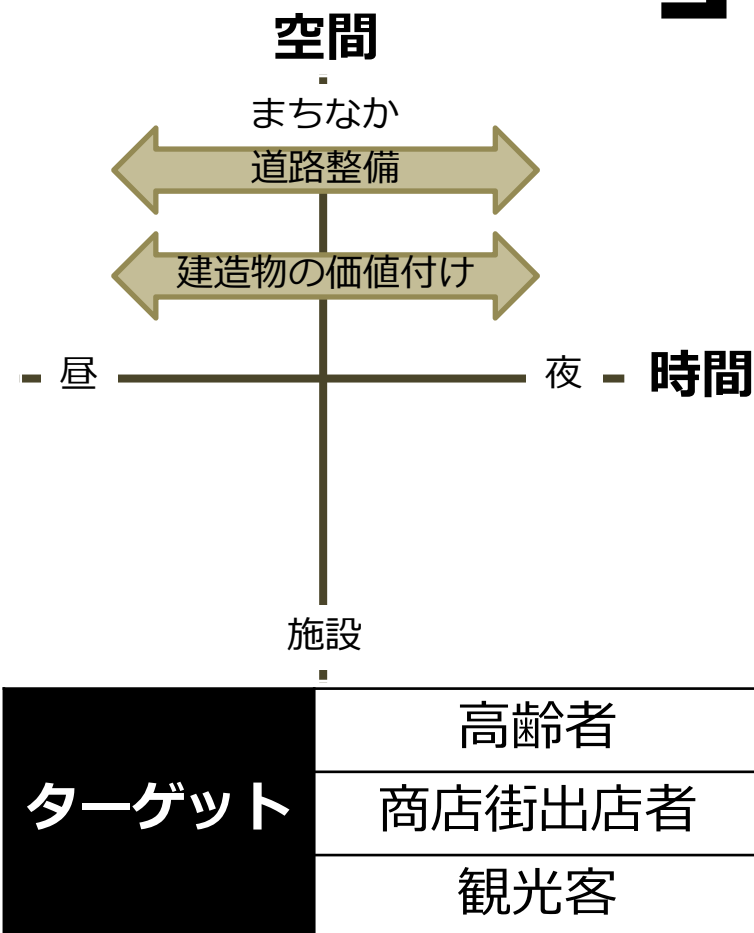
- MAP・NAVIによる散歩コース設定
- 歴史ある店舗や建造物のライトアップなどリノベーション
- 夜の散歩コースとなるような施設・店舗へのつながりを作る
- 昼間も楽しく散歩を楽しめるようにする

現状の課題

- 商店街の活用
- 商店街利用者の減少
- 観光客の減少

期待できる効果

- 資源を活かしたリノベーションによる話題性
- 商店街に新たな人の流れを構築



# ハード 駅舎・空き家 (3班)

タイトル

黒磯駅の特徴を活かし資源を活用!!  
「品格」ある黒磯駅を表現する

詳細

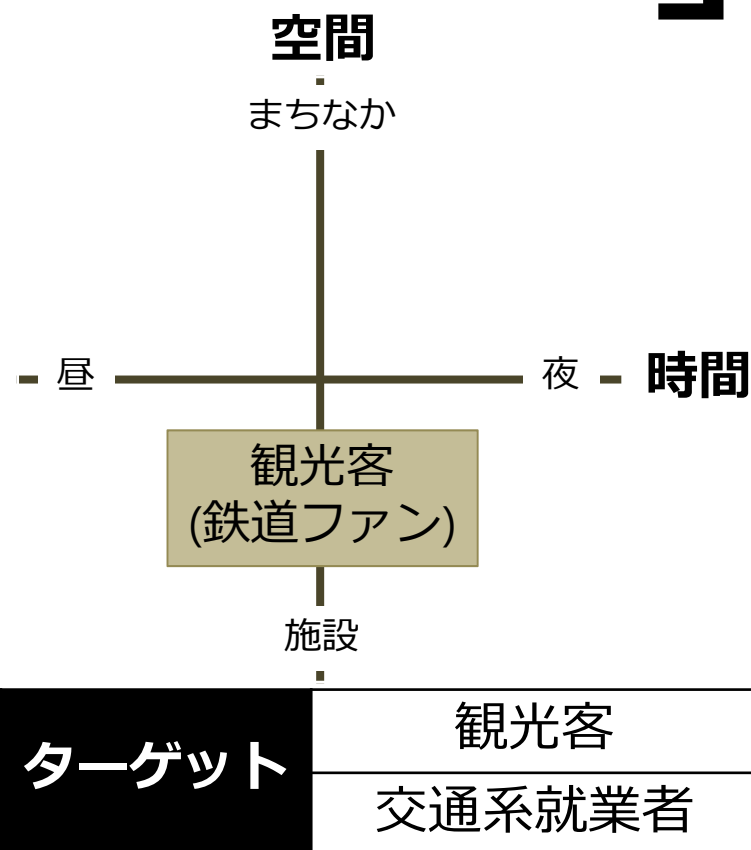
- **貴賓室**の一般解放  
→那須観光の出入り口として
- 馬車・自転車等の**二次交通の拠点**としての機能を持たせる  
→新幹線にて那須塩原駅で下車し、黒磯駅から那須観光へという流れを作る

現状の課題

- 新幹線が停まらず利用客が少ない
- 鉄道資源を活かせていない

期待できる効果

- 那須塩原駅との差別化を図る
- 鉄道ファンという環境客の増加が見込める





# ハード 駅舎・空き家 (5班)

タイトル

観光と生活の調和

詳細

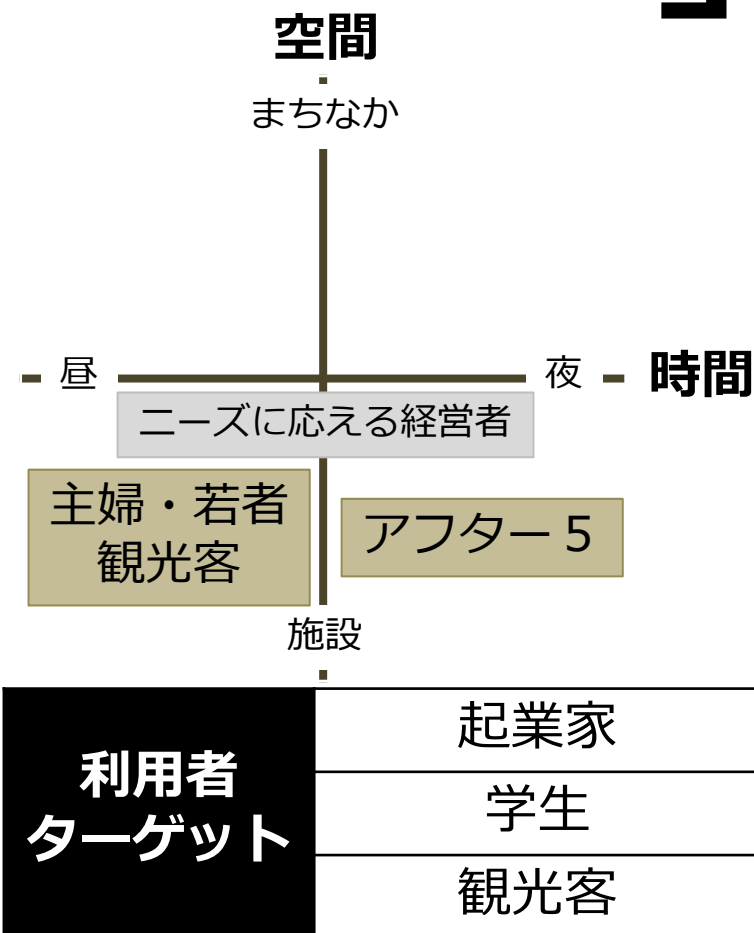
- 乳製品の販売・ギャラリー化・足湯を待合室で利用
- 鉄道のイベント
- 広場に若者向けの起業に繋がる屋台広場
- シャッターアートやリノベーション
- 空き家情報管理
- 空き家を活用した託児所・アート展

現状の課題

- 資源を活かしきれていない
- 閉店後のシャッターが寂しい
- 広場の活用を行いたい

期待できる効果

- 黒磯駅近郊の資源を有効活用することで無駄を省く
- 資源活用の運動により、市民間交流の促進に繋がる



# ハード 駅舎 (10班)

タイトル

世界初！新しい駅の形の提案  
人とモノの集着駅

詳細

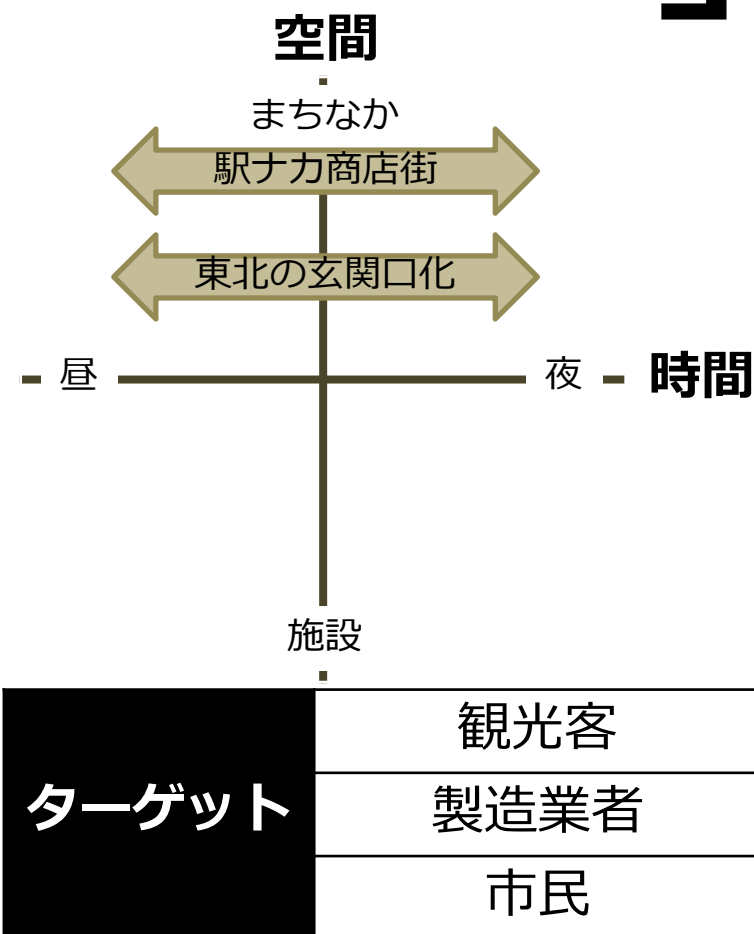
- **東北の玄関口**として、IC付近や駅前(駅ナカ)に**東北の海産物市場**を作る
- 交通の利便性は那須塩原駅に任せ、黒磯駅は**ユーモアな遊び**を取り入れる  
(ex.) トーマス列車
- **駅ナカ商店街**として、駅前の商店街も駅ナカとして活用できる

現状の課題

- 黒磯駅の利用者が少ない
- 駅舎としての特徴
- 那須塩原駅との差別化

期待できる効果

- 関東、東北の玄関口というブランド化を確立することで、両地方を中心に新たな経済活性を呼び込める



# ハード 道路環境 (8班)

タイトル

## 世界に誇れる黒磯商店街につながる道

### 詳細

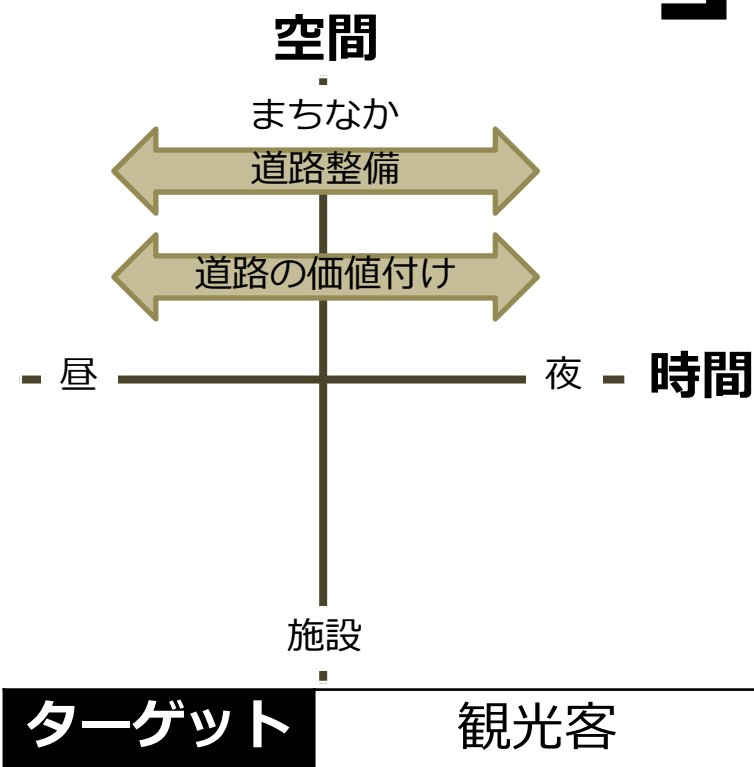
- IC出口を黒磯方面に迂回させる
- 看板の設置
- シャトルバスやレンタルサイクルの設置
- 駅までのサイクリングロードや枕木を利用した歩道の整備
- 導線の中にオシャレなレストランや道の駅を設置

### 現状の課題

- 観光客がIC付近しか活用しない
- IC・大型施設から市内への導線が整備されていない

### 期待できる効果

- 観光客の流れをIC付近から分散させる
- IC付近に車を止め、自転車やバスを利用するパーク&ライド化



# 建設予定施設の イメージ紹介



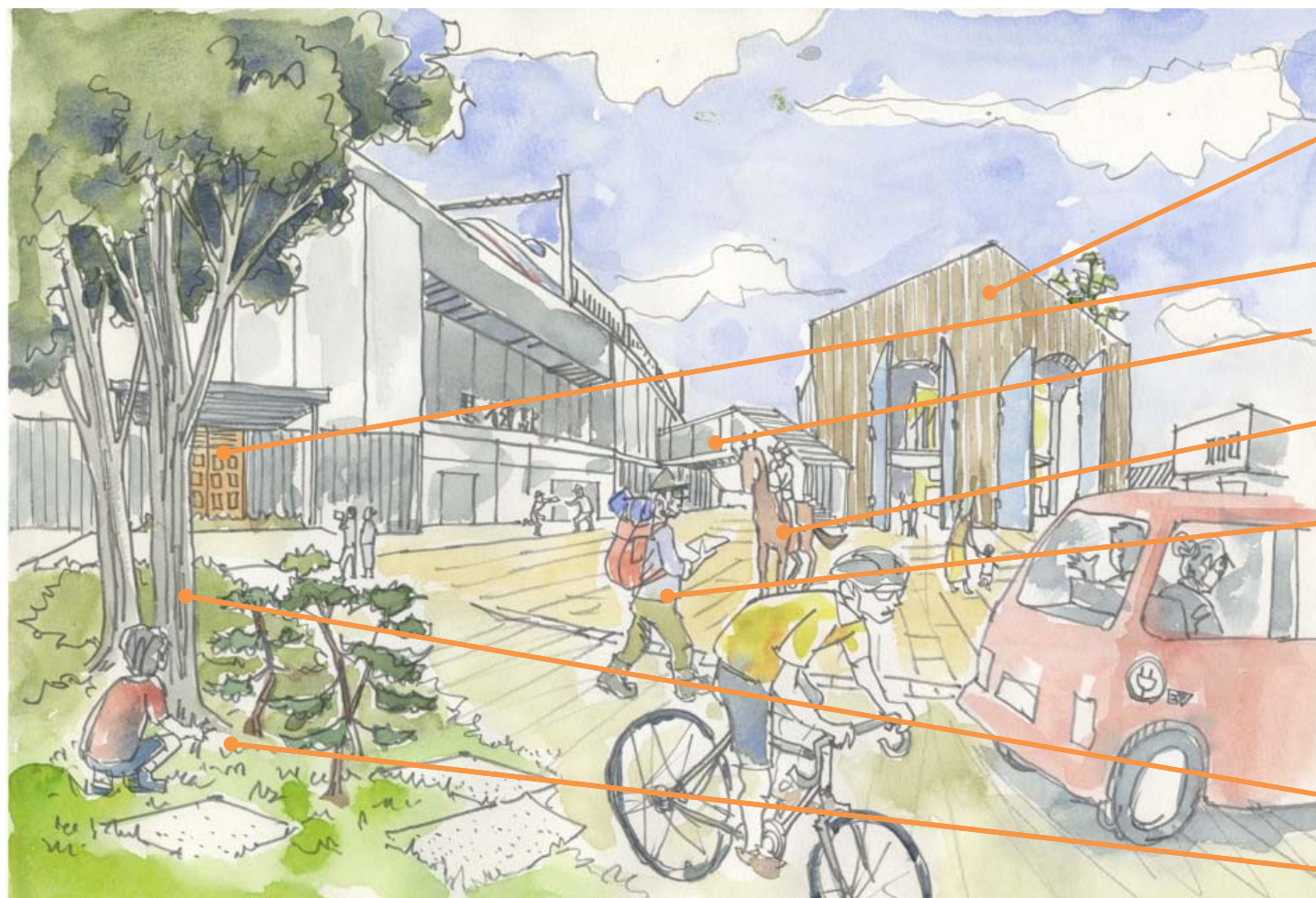
# 1. 街づくりの始まりに。



黒磯駅から那須連峰に続く緩傾斜のランドスケープは人々を旅/ゆっくりとした交通への想いをかき立てる。

**ゲートシティ**としての黒磯駅前まちなか再生。

## 2. JR黒磯駅



「駅前図書館」

「貴賓室」

「東西連絡通路」

孫と祖父

トレッキング  
ベース

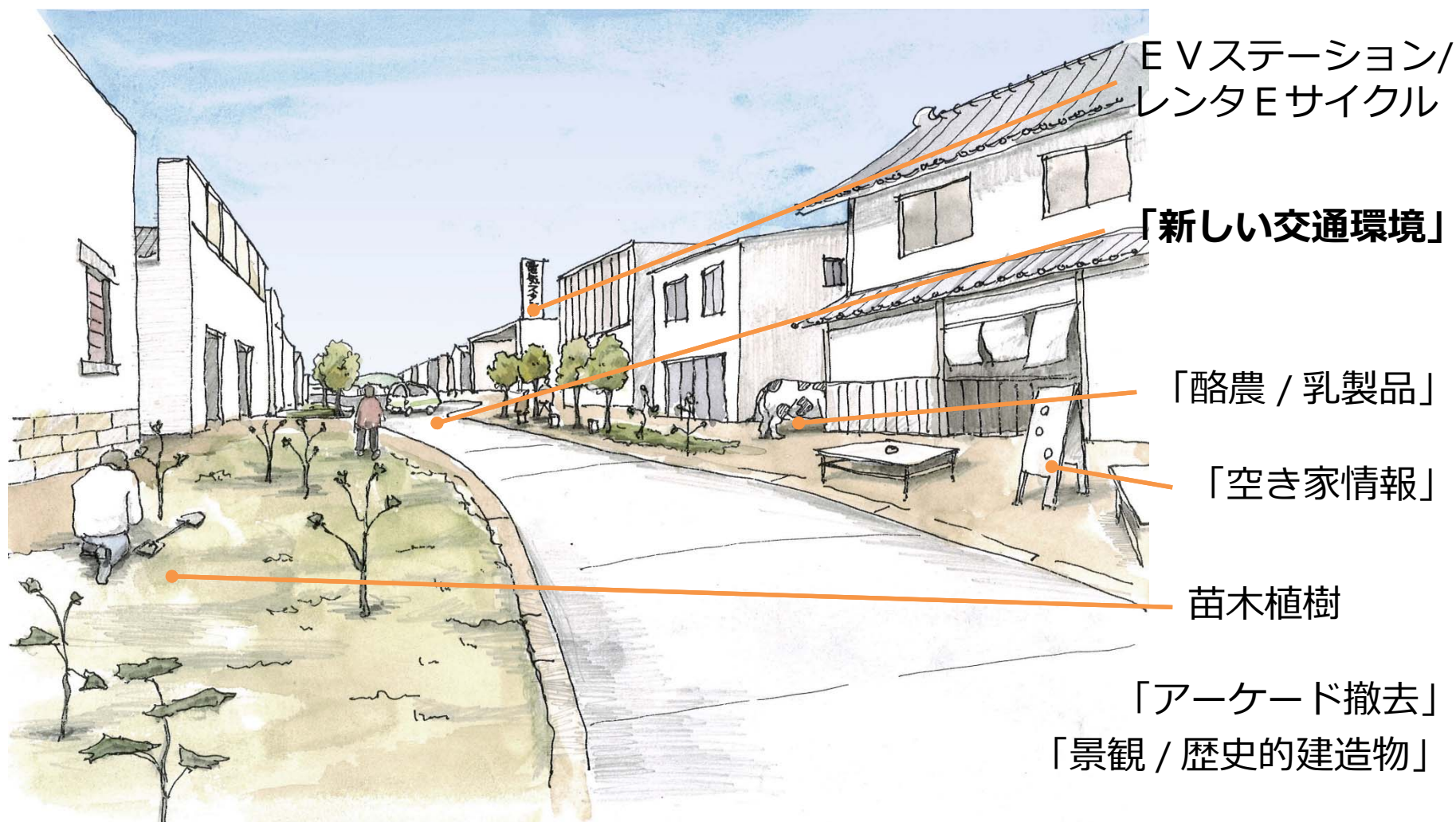
「二次交通拠点」

「品格」

苗木植樹

「貴賓室」「交直接続駅」「ヒト・モノ集着駅」などの特色ある駅本来の魅力に加え、これから進める黒磯駅前の未来へ繋がる**街づくりコンセプト**  
**/情報の入り口**として機能する駅舎、及び駅前ターミナル。

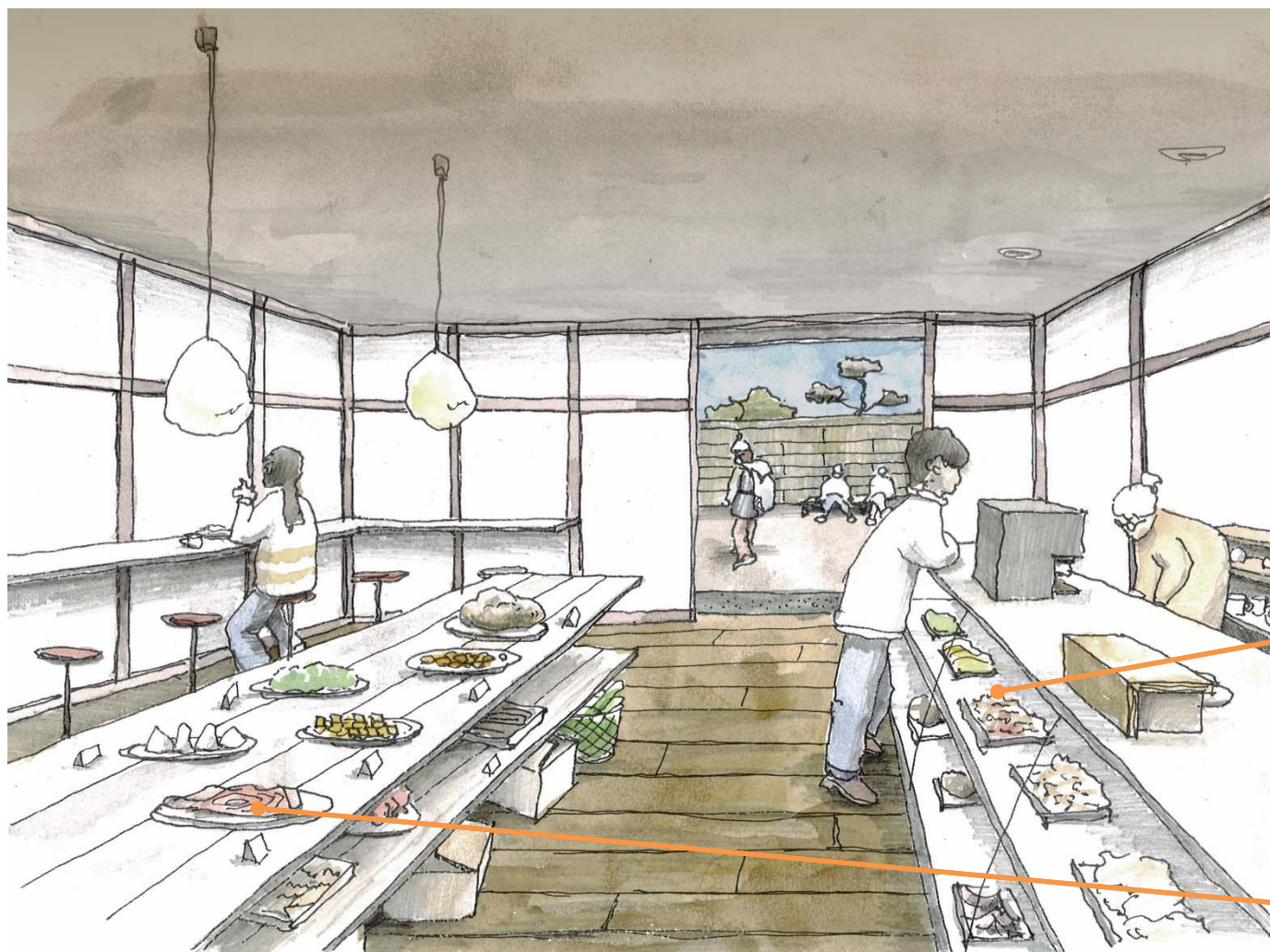
### 3. 駅前商店街



アーケード撤去、歴史的景観の保全など、人々の往来を目標に県道は積極的にデザインし、「**新しい交通環境**」即ち歩行者、自転車、乗馬、そして自動車の共存する街づくりを表現する。

駅前商店街は「駅」「図書館」「交流センタ」「空き家活用」を繋ぐハブとなる。31

## 4 空き家活用



「空き家活用」

「乳製品」

近隣コミュニティ

おばあちゃん  
の惣菜

「リノベーション」

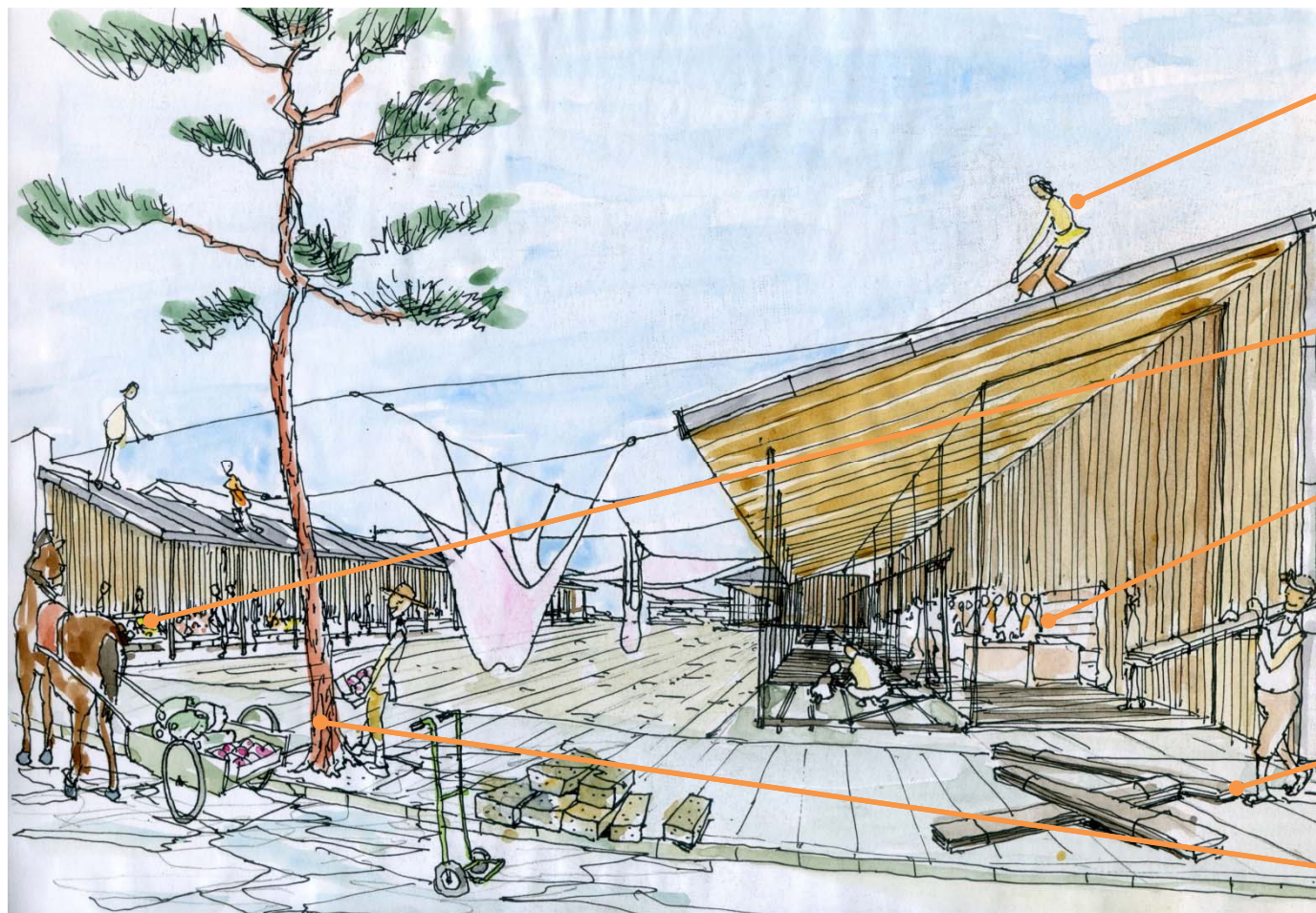
「東北の海産物」

リノベーション、セルフビルドの舞台となる「空き家活用」を通じて、その主体となる住民の**地域コミュニティ、世代間交流**が形成される。

またこの街を訪れる人々もその現場、経過に触れることができ、さらにこの「空き家活用」に参加利用することによって、街づくりに参加することができる。



## 5 交流センター 昼



「学生」

「食」

「料理教室 /  
オープンキッチン  
/ マルシェ」

「足湯 / 温泉」

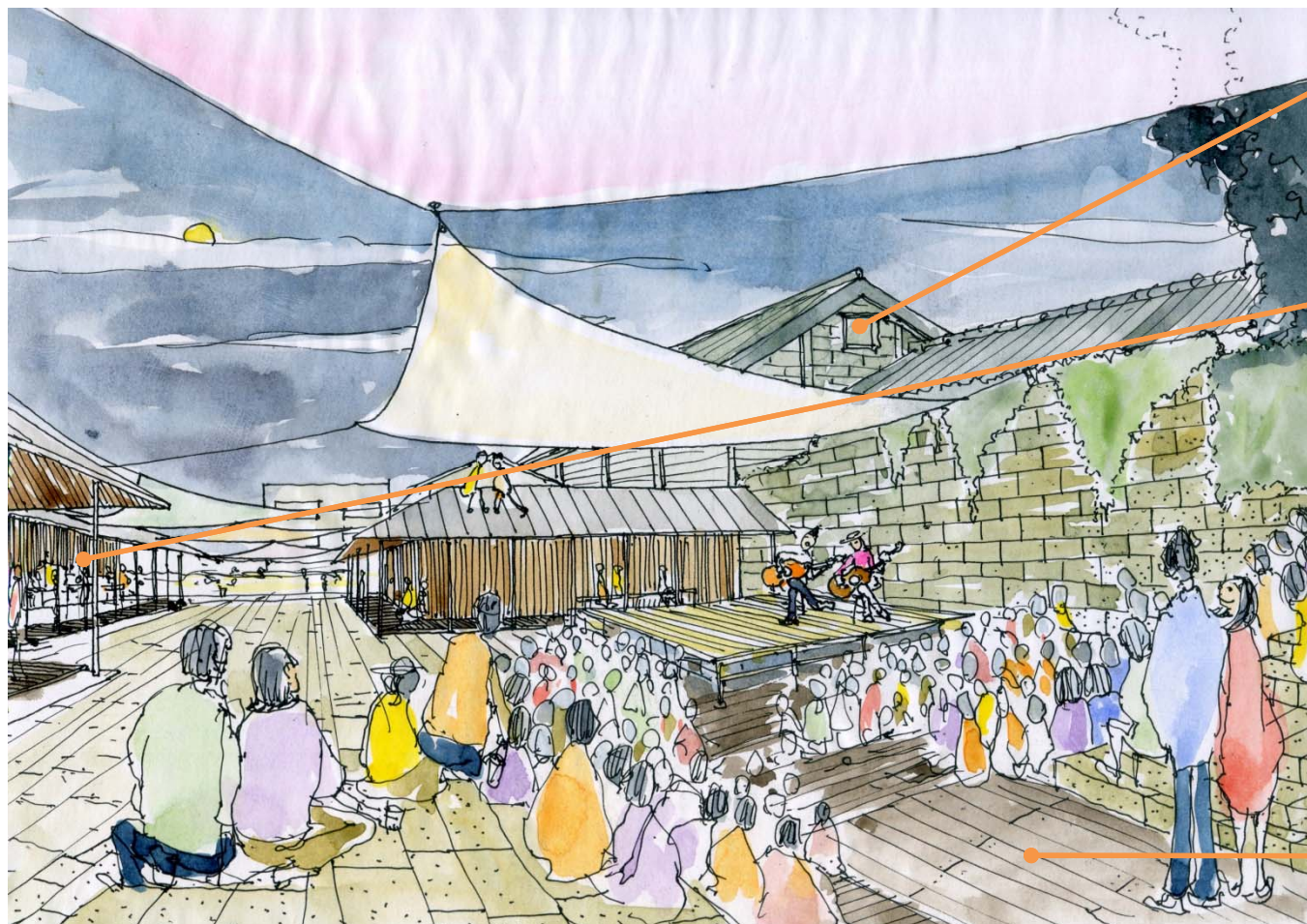
「昼間」

廃材利用

街路樹管理

リノベーション、セルフビルドの核となる交流センターには、廃材、枕木、大谷石を活用した**オープンデッキ**が広がり、日常的に出店作業が行われている。「食」を中心とした機能、必要面積が住民によって切り取られ、建設され、運営される。

## 6 交流センター 夜



「ライトアップ」

「屋台広場」

「若者起業」

「夜」

「フリースペース」

「ライブハウス」

「多世代」

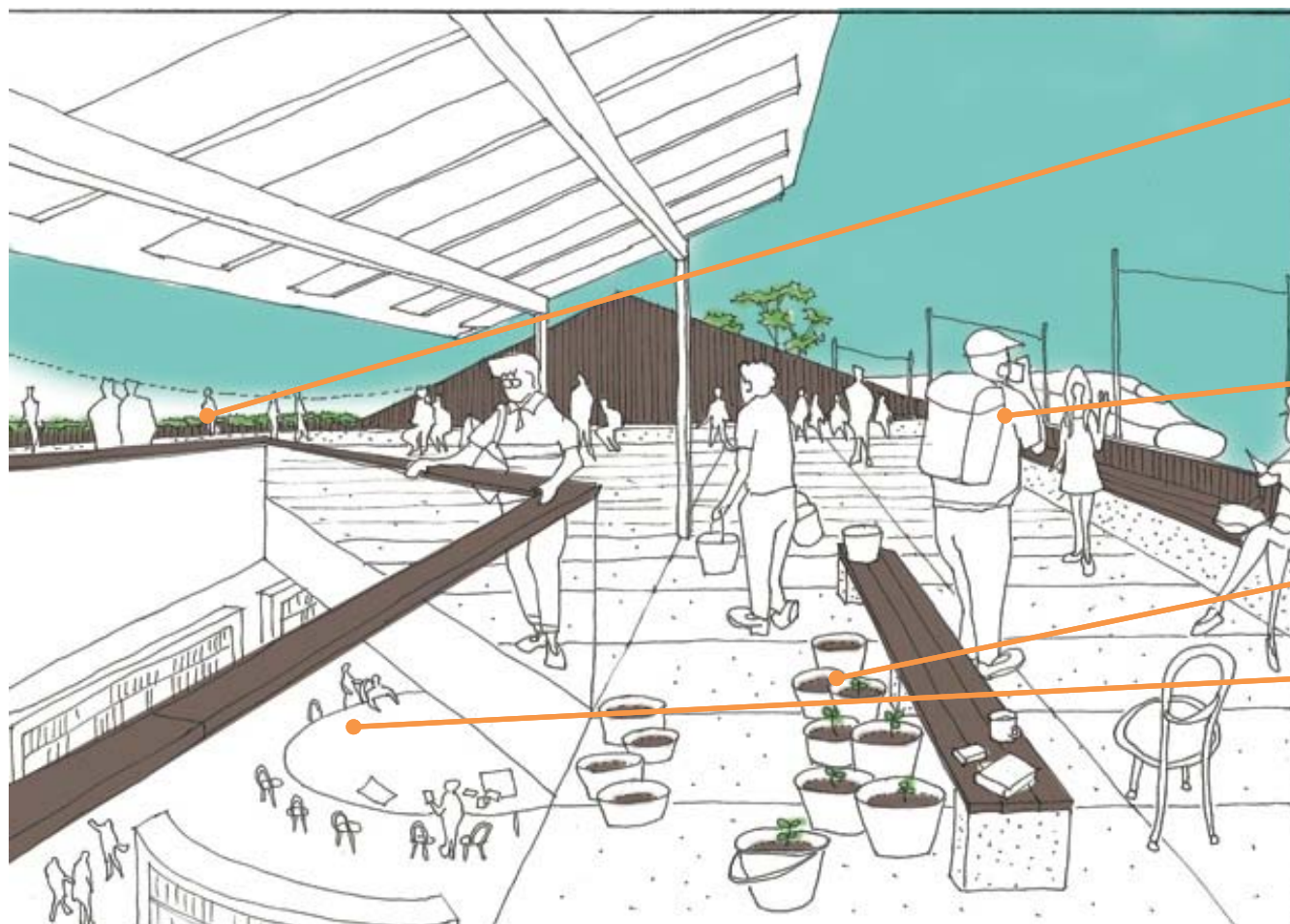
「アート」

「枕木 / 大谷石」

随時更新されるオープンデッキの配置、高低差を利用した多様な**市民交流**が、観光客も交えて開催される。

旧ホテル解体跡の基礎構造を手掛かりに長屋屋台、チャレンジショップが立ち並び、既存の大谷石積み大壁は場の背景となり、堆積した歴史を表す。

## 7 駅前図書館 屋上



那須連峰眺望

「24時間営業」

「鉄道 / 新幹線」

苗木栽培

「観光情報発信」

トレッキング  
ベース

第一期工事で完成する図書館屋上からは、真横を通過する新幹線を見ることも、「交直接続駅」を俯瞰することも楽しめる。そして彼方に広がる那須連峰とその裾野を見渡すことができ、観光情報発信基地となる。  
長期的な街づくりの**アーカイブ/ストックヤード**として機能する図書館ではその象徴的な植樹のための苗木が栽培されている。

## 8 駅前図書館



那須連峰眺望

「朝やアフター時間」

「観光案内」

「用途別分類書籍」

「学習」

「飲食スペース」

廃材利用拠点

**建材資産貯蓄**

「世代間交流」

今後、市民によって更新されていくリノベーション、セルフビルド、さらに必要機能、運用スキームに対応する**逐次施工**の可能性を探る。  
初年度より集め、蓄積された廃材、建材は、上階に分類収蔵された図書と同様に陳列され、持ち出される。  
電子情報化された街づくりのアーカイブも、この場所で閲覧することができる。

# 意見交換



# CGLの説明、 Web投票の説明後の有識者からの感想

※発言順

■ 小林 重敬 氏

- ・世の中が行うまちづくりで重要なことはマネジメントである
- ・まちづくりは環境を考えることが大切である

■ 飯盛 善徳 氏

- ・プラットフォームをどう作るか考えることが大切である
- ・関心のない人を引き付けるにはインセンティブが重要である
- ・地域を担う人材をいかに育成するのが大切である
- ・地域事例を混ぜながらだと、地域住民も納得しやすくなるため、情報量の多いものにした方が良い

■ 今村 まゆみ 氏

- ・社会課題の自分事化が肝になる
- ・一般の市民は、普通に言われても自分事化にすることは難しく、多くの方々は役場の人間達がやるものだと思っている

■ 角野 幸博 氏

- ・オンライン投票は、○か×かの選挙でなく、何が良くて何が悪いのかを市民が自分事化して考えるきっかけになる
- ・選挙で出てきたものがどう公表され、どう繋がっていくのか、その結果を踏まえてどうしたいのかを示しておく必要がある

■ 小泉 雅生 氏

- ・ネットで集めたものをリアルの現場でまた共有する必要がある
- ・まちづくり情報センターみたいなものを作って、そこで情報を発信すると良い

# 前回のWSにおける提言説明後の 有識者からのアドバイス①

※発言順

## ■ 小泉 雅生 氏

- ・図書館をキーにすると中に吸い寄せられてしまうため、外に持っていくような仕組みが必要である  
→図書館を少し不便にさせないと図書館にみんな行ってしまい、商店街が負けてしまう
- ・駅の連絡通路や貴賓室は駅の構造上不思議なので、うまく使えば面白い

## ■ 角野 幸博 氏

- ・図書館で本当に本を読む人がいるのか考察するなど利用する人についてもう少し考えたほうが良い
- ・図書館で今アクティブラーニングというのが流行っている
- ・中心市街地の商店街について考えるなら、郊外についても考えないといけない

## ■ 今村 まゆみ 氏

- ・7班の図書館は観光客をターゲットにしているため、観光客でも本が借りられたらいいなと思う
- ・駅前が静かと思っていたが、意外とカフェがある印象のため、観光客が図書館で借りた本をカフェで読む仕組みをつくと面白いかもしれない

# 前回のWSにおける提言説明後の 有識者からのアドバイス②

※発言順

## ■ 飯盛 善徳 氏

- ・ 慶應義塾では、図書館を図書館とよばず、メディアセンターと呼んでいる  
→そこには3Dプリンターを置いていて、学生たちが自由に使っている
- ・ 歴史的なものが多く、ポテンシャルは高い地域と感じた
- ・ 多くの地域は、若者が高校卒業と同時に地域を離れてしまうため、地域に愛着も薄いいためUターンも望みにくい  
→小学生たちに観光ガイドをやらせると面白いのではないか
- ・ 慶應義塾生と港区と連携して、空き家をリノベーションしている  
→ゆる〜い空間作りをコンセプトにリノベーションした結果、そこを中心にサークルがたくさん生まれてきた
- ・ 金沢市の学生の町市民交流間  
→金沢市が学生たち街づくりを参加してもらうために、無料で場を提供している
- ・ 街づくりは、場づくりとそれをどう回すかが大事である
- ・ 地域の街づくりは資源をみんなで持ち寄って場を作ること

## ■ 小林 重敬 氏

- ・ 山梨県の北杜市も人口が増え続けている  
→南アルプスの景色を見ながら豊かに暮らす空間を作り出している
- ・ 新しい暮らしのできる提案ができれば面白いと思う



# ハード面の説明を受けた後の 有識者の方々からのアドバイス

※発言順

■ 角野 幸博 氏

- ・大都市ではないため、施設を24時間365日稼動しなくてもいいのではないかと  
→オンの時間はもちろん、オフの時間もデザインしたほうが良い

■ 小泉 雅生 氏

- ・交流センターは難しいだろうなと感じた。市民の利用目的をもっと明確にした方が良い
- ・町の中にデートできる場所を用意したほうが良いのではないのか

■ 飯盛 善徳 氏

- ・それぞれの形に対して市民の方々がどういう風に繋がりを作るのか、どういうストーリーを作るのか、ソフト面の設計が気になった
- ・交流センターは何かをしないと機能しないため、必ず次から次へ何かが起こるような仕掛けを考える必要がある

■ 今村 まゆみ 氏

- ・建物は「どういう価値観でどういうことを大事にしている町」を大事にした方が良い
- ・品格のような、こらからどうしたいのかのマインドを大事にしたら良い

■ 小林 重敬 氏

- ・まちづくりにはコーディネーターではなく、プロデューサーが必要である
- ・プロデューサーが町の中から生まれてくるのが1番の理想である

# 市民からのコメント

## ※発言順

### ■ 瀧澤 資介 氏 (えきっぷくろいそ代表)

- ・那須塩原市としては、みんなでまちを作っていこうっていう活動は、初の試みのためこれからが勝負である
- ・地元の市民に愛される町づくりがキーになると思う
- ・今回、色々アドバイスを受けたため、この内容を踏まえ、リバースプロジェクトと一緒にやっていけたらと思う

### ■ 小森 浩二 氏 (一般社団法人 黒磯那須青年会議所理事長)

- ・まちづくりでは、持続的な人づくりというのが重要であることをあらためて感じた
- ・ここに住む人がみんなで考え、参加し、まちをつくっていくことが大切
- ・もっと多くの若者を巻き込んで、ワクワクすることをやっていきたい

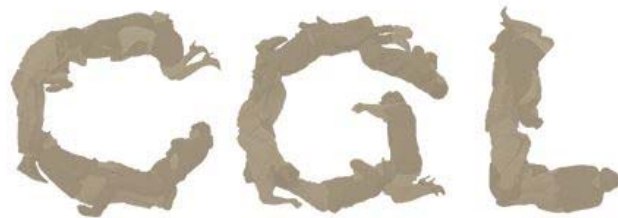
### ■ 市民の方々からのご意見

- ・ワークショップに参加することで、同世代の経営者の存在を知った
- ・交流センターに必要なことは、大勢の人を集めることでなく、交流センターを動かせる人である
- ・交流センターをどんな目的で作るのかももっと具体的に議論するべきである
- ・まちの目標、目的をしっかり議論・整理する必要がある
- ・障がい者に対する地域づくりをもっと考えてほしい
- ・駐車場は地域性上どうしても確保する必要がある

# 小林 重敬氏のまとめ

- ・ 幅広く住民の意見を取らないといけないのではないのかと思う
- ・ 学生がワークショップ以外で市民の意見を集めるにはどうしたらいいのかを日々勉強しているため、今回のオンライン投票は結果が気になるところである
- ・ まちづくりはハード面だけ作っても意味がなく、それをどう使うのかというソフト面も大事にしないといけない
- ・ 「must(しなければならないこと)」の関係をもっと議論に必要ではないのかと思う
- ・ 人材を集める仕掛けを考える必要も出てきているため、検討を進めて欲しい

**みなさん一丸となって魅力あるまちを  
作り上げましょう**



**CROWD GOVERNMENT LAB.**

2014.09.20(土)